

2. 社会支出と国際比較

(1) 政策分野別社会支出

2013年度の社会支出を政策分野別にみると、「高齢」が最も多く（47.9%）、次いで「保健」（33.0%）、「遺族」（5.9%）、「家族」（5.3%）、「障害、業務災害、傷病」（4.4%）、「他の政策分野」（1.2%）、「失業」（1.1%）、「積極的労働市場政策」（0.7%）、「住宅」（0.5%）の順となっている。

表4 政策分野別社会支出

社会支出	2012年度	2013年度	対前年度比	
			増加額	伸び率
	億円	億円	億円	%
合 計	1,125,446 (100.0)	1,141,356 (100.0)	15,911	1.4
高 齢	536,272 (47.6)	546,247 (47.9)	9,975	1.9
遺 族	67,933 (6.0)	67,544 (5.9)	△ 389	△ 0.6
障害、業務災害、傷病	48,901 (4.3)	50,251 (4.4)	1,350	2.8
保 健	367,684 (32.7)	377,190 (33.0)	9,505	2.6
家 族	62,164 (5.5)	60,568 (5.3)	△ 1,596	△ 2.6
積極的労働市場政策	9,355 (0.8)	7,601 (0.7)	△ 1,754	△ 18.7
失 業	13,317 (1.2)	12,246 (1.1)	△ 1,071	△ 8.0
住 宅	5,735 (0.5)	5,876 (0.5)	141	2.5
他の政策分野	14,085 (1.3)	13,834 (1.2)	△ 251	△ 1.8

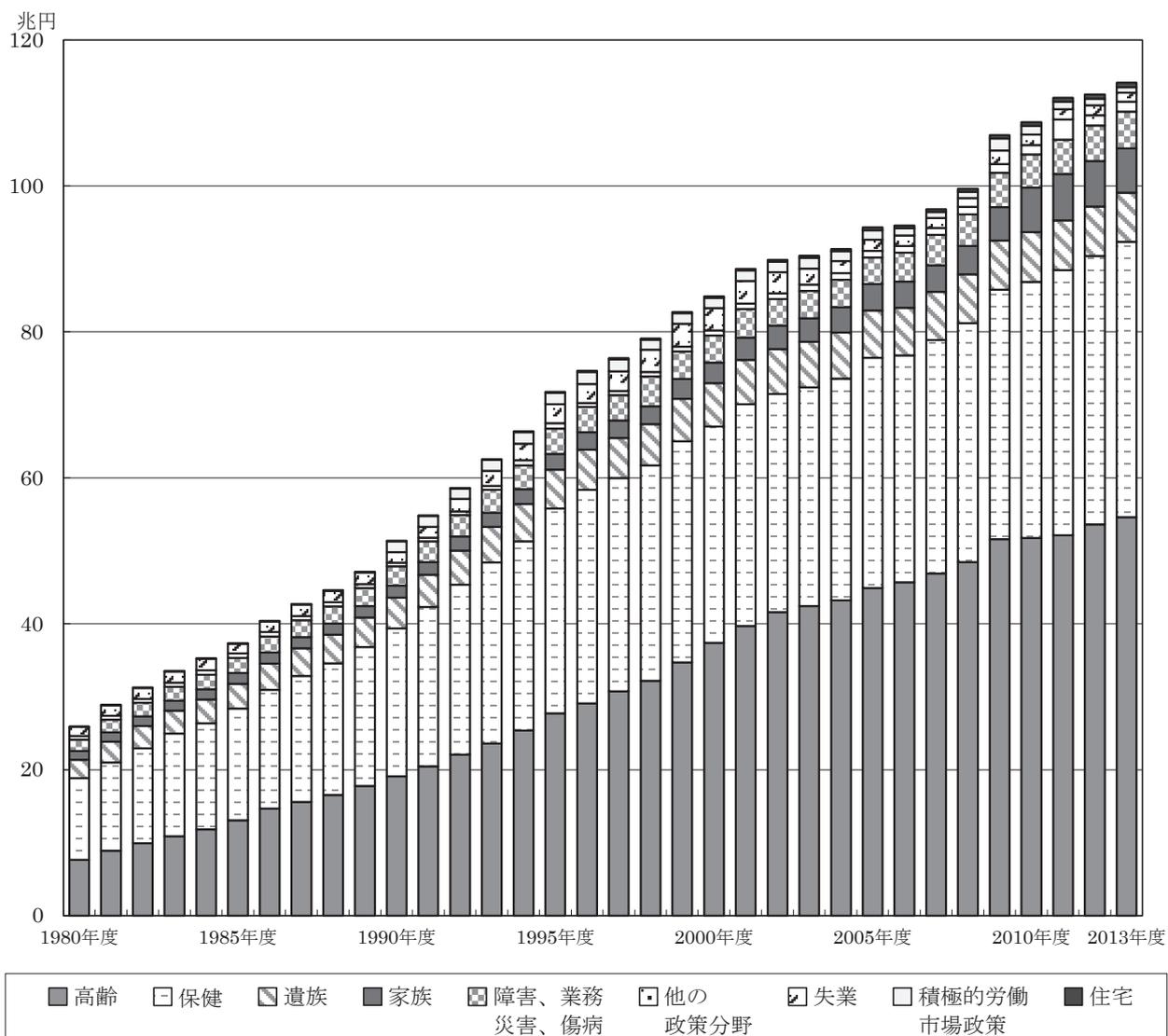
(注)

1. () 内は構成割合である。
2. 政策分野別の項目説明は、56-64頁を参照。

表5 政策分野別社会支出の対国内総生産比

社会支出	2012年度	2013年度	対前年度増加分
	%	%	%ポイント
合計	23.72	23.63	△ 0.09
高齡	11.30	11.31	0.00
遺族	1.43	1.40	△ 0.03
障害、業務災害、傷病	1.03	1.04	0.01
保健	7.75	7.81	0.06
家族	1.31	1.25	△ 0.06
積極的労働市場政策	0.20	0.16	△ 0.04
失業	0.28	0.25	△ 0.03
住宅	0.12	0.12	0.00
他の政策分野	0.30	0.29	△ 0.01

図1 我が国の政策分野別社会支出の推移



(出所)

31頁「第1表 政策分野別社会支出の推移」より作成。

(2) 社会支出の国際比較

諸外国の社会支出を対国内総生産比で見ると、2011年度時点でアメリカより大きくイギリスをやや上回っているが、スウェーデンやフランス・ドイツなど大陸ヨーロッパ諸国に比べると小さくなっている。

図2 政策分野別社会支出の国際比較 (2011年度)

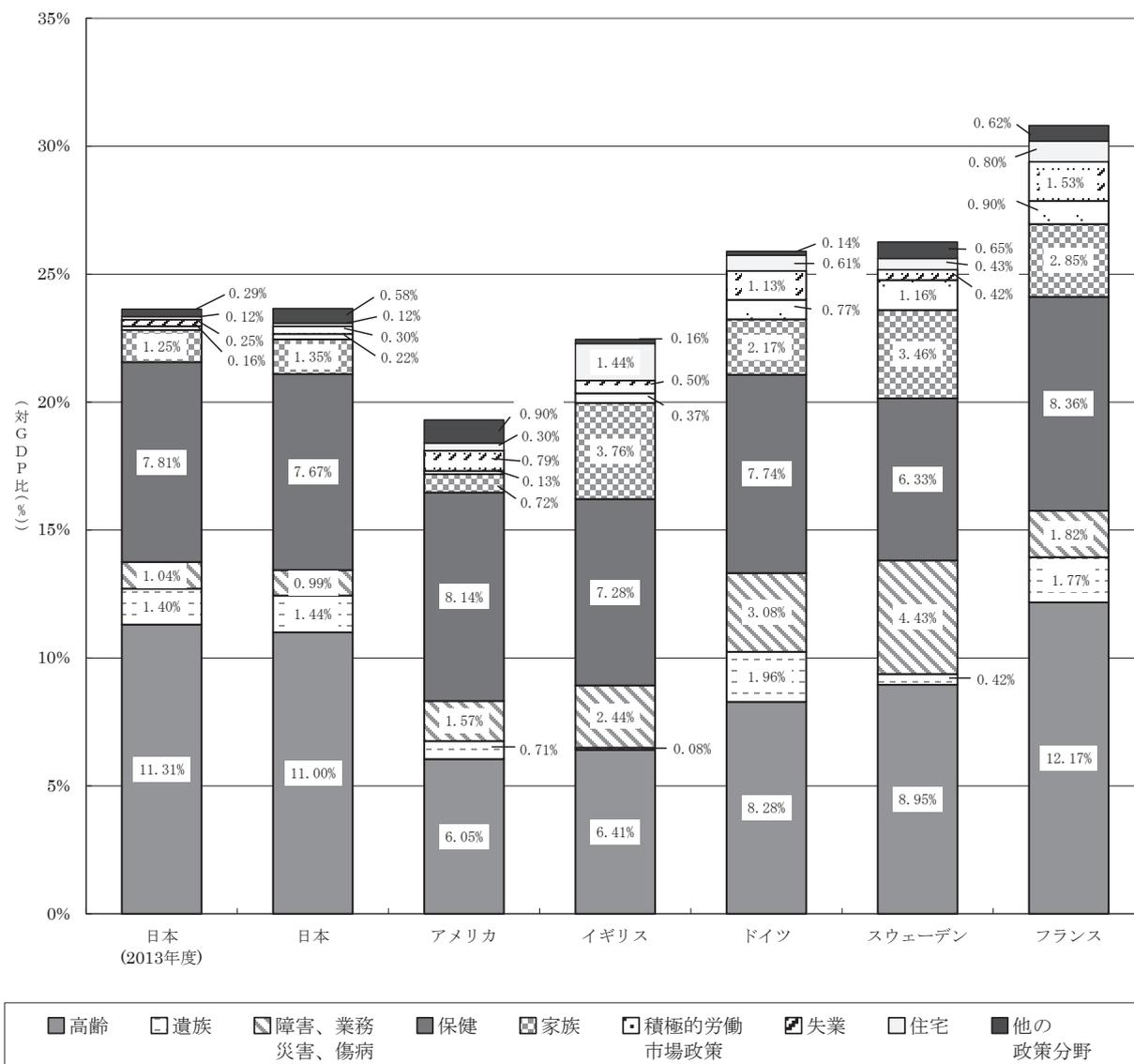


表6 社会支出の国際比較 (2011年度)

社会支出	日本 (2013年度)	日本	アメリカ	イギリス	ドイツ	スウェーデン	フランス
社会支出 対国内総生産比	23.63%	23.65%	19.30%	22.45%	25.89%	26.26%	30.81%
(参考) 対国民所得比	31.52%	32.06%	24.33%	29.74%	34.45%	39.61%	43.16%

(資料) 諸外国の社会支出は、OECD Social Expenditure Database (2015年8月20日時点)による。

(<http://www.oecd.org/els/social/expenditure>)

国内総生産・国民所得については、日本は内閣府「平成27年版国民経済計算年報」、諸外国はOECD National Accounts 2015による。

図3 政策分野別社会支出の構成割合の国際比較(2011年度)

